

# 授業科目 地域福祉論 I

【担当教員名】 豊田 保		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		○		◎	
◎		○		○	
【概要】 地域福祉の基本的な考え方について理解する。 地域福祉の各種理論について理解する。 地域福祉の各種実践について理解する。					
【学習目標】 1 地域福祉の発展過程について理解する。 2 地域福祉の主体について理解する。 3 地域福祉における行政組織および民間組織の役割について理解する。 4 地域福祉に関わる専門職の役割について理解する。 5 地域福祉における住民参加について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				講義による学習（以下、同じ）
2	地域福祉の発展過程				
3	福祉コミュニティの考え方				
4	現代社会の実際と地域福祉				
5	地域自立生活支援				
6	地域社会の捉え方（コミュニティ論）				
7	福祉教育の概念と内容				
8	地方分権と地域福祉計画の意義				
9	社会福祉協議会の役割と実践				
10	社会福祉法人の役割と実践				
11	NPO 法人の役割と実践				
12	コミュニティ・ソーシャルワークの考え方				
13	コミュニティソーシャルワークの方法と実践				
14	地域福祉における住民の参加と方法				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座9 地域福祉の理論と方法	市川一宏、上野谷加代子、大橋謙作	中央法規出版	2013・2,600円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験またはレポートによる			【履修上の留意点】 教科書を個々に読了すること		